氷見 仏生寺新聞

看板 ぴ～ぷる people

獅子舞を継承　中田 市典さん(57) 惣領獅子方若連中会長

惣領の獅子舞は獅子頭をゆっくりと動かし、にらみをきかせます。獅子殺しの口上で使う花紙は毎回自分たちで作っており、大きさが自慢です。昨年は３年ぶりに集落内を回すことができ、住民が喜んでくれました。仏生寺地区では獅子舞をする集落が少なくなってしまいましたが、惣領は頑張っています。今年は行いませんが、来年は勇壮な舞を披露して、地域を大いに盛り上げたいです。

人口
904人　（３月現在）

世帯数
352世帯　（同）

特産品
ハトムギ、シイタケ、マコモタケ

氷見市仏生寺地区

偉人生んだ修験の地

ふるさとソラ撮り

（小型無人機から）

氷見市仏生寺地区は、市南西部の中山間地に位置する緑豊かな地域だ。三つの谷筋に点在する11集落からなり、南は高岡市境に接する。2016年3月には惣領に能越自動車道氷見南インターチェンジ（IC）が開通し、高岡、能登方面へのアクセスも良い。

地区の南端には、三千坊山（標高264メートル）がそびえる。中世までは山一体に密教寺院が多数あり、山伏の修験の場として栄えたとされ、一説には、その名の通り3千の寺院、もしくは僧侶がいたとも伝わる。中でも「仏生寺」と呼ばれた寺院が名高く、寺は途絶えたが地名に残ったという。

特産のハトムギ栽培江戸時代は加賀藩領で、1889（明治22）年、仏生寺、惣領、鞍骨の旧3カ村が合併して仏生寺村となった。主産業は稲作だったが、平地が乏しいため、住民は畑作やワラムシロづくりなど多くの産業に精を出した。特に林業が盛んで、昭和30年ごろまで、スギの伐採や植林、炭焼きが行われた。

近年は細越で1985（昭和60）年から、特産のハトムギ栽培が続く。オーナー事業も実施し、毎年、春と秋には地区内外から多くの参加者が種まきと収穫に訪れる。

イタセンパラ研究

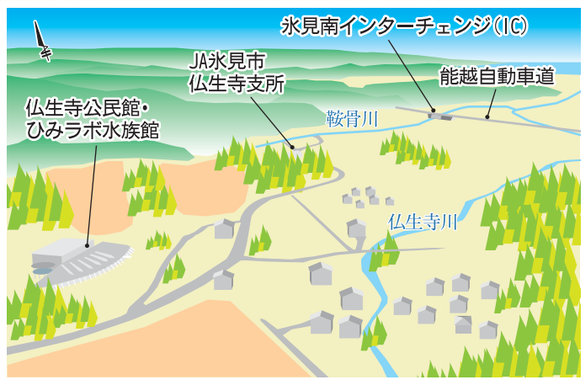
住民交流の拠点は、旧仏生寺小（惣領）を活用した仏生寺公民館だ。体育館やグラウンドはスポーツ大会などに活用され、結束強化に役立っている。校舎は「ひみラボ水族館」として、仏生寺川に生息する国天然記念物の淡水魚イタセンパラの研究拠点になっている。

仏生寺が生んだ2人の偉人も忘れていけない。幕末に活躍した剣豪斎藤弥九郎と、富山県初の大臣・南弘だ。

斎藤は脇之谷内に生まれ、江戸の幕末三大道場の一つ練兵館を創設。高杉晋作、桂小五郎ら明治維新の中心人物を多数育てた。寺中出身の南は、戦前に逓信大臣を務めたほか、「厚生省の名付け親」とも言われている。

斎藤は2021年に没後150年、南は19年に生誕150年の節目を迎え、地区では2人の顕彰を行った。業績をまとめた冊子を制作したほか、銅像やゆかりの地を巡るバスツアーを行った。

地区は少子化が進むが、旧仏生寺小を統合した湖南小では、斎藤をリスペクトした「竹刀体操」や、顕彰地巡りが行われ、偉人の精神は次世代へと受け継がれている。仏生寺公民館の片田義治館長は「少子化にまけず、2人に続く人材が出てきてほしい」と期待した。



斎藤の銅像の前で説明を受ける児童＝昨年11月、氷見市仏生寺

掲載写真をご希望の方は富山新聞社業務局＝076（491）8113＝（平日のみ）までお申し込みください。実費でお分けします。

剣豪と大臣、顕彰厚く

シイタケ名人に弟子入り

原木栽培　六田さん指導で古澤さん

仏生寺（脇之谷内）でシイタケの原木栽培に半世紀以上打ち込み、名人として知られる六田敏夫さん(77)に、古澤大助さん(42)＝宮田＝が弟子入りし、技術の習得に励んでいる。11月に初収穫の予定で、六田さんは「若手の成長はうれしい。一人前になってほしい」と期待する。

古澤さんは青森県出身で、8年前に氷見市に移住し、森林整備の仕事に携わるなかで、六田さんと知り合い、原木栽培のシイタケのおいしさに引き込まれた。林業の仕事が少なくなる冬場の仕事として2022年11月ごろから始めた。植菌した原木は2千本をかぞえ、今年は完熟ほだ木を仕上げる段階に入った。

シイタケ栽培は人工的な環境で育てる菌床栽培が主流になった。山から切り出した木に植菌する原木栽培は生産者が激減した。脇之谷内では生産組合が作られるほど盛んだったが、六田さんだけになった。数年前から元地域おこし協力隊の稲垣信志さん(54)が取り組んでおり、古澤さんは2人目となる。

古澤さんは「しっかり栽培方法を受け継ぎ、原木シイタケのおいしさを広めたい」と意気込んでいる。

六田さん（右）から指導を受ける古澤さん＝氷見市仏生寺（脇之谷内）

カローリング「聖地」に

旧仏生寺小体育館　愛好者が続々

カローリングを楽しむ参加者　＝氷見市の旧仏生寺体育館

惣領の旧仏生寺小体育館が市内のカローリング愛好者の「聖地」になっている。仏生寺地区は、市内の競技普及の先駆けで、道具がそろう体育館では月2回ほど大会を開催。練習場所としても貸し出しており、廃校跡を生かしたスポーツ交流の拠点となっている。

カローリングは、氷上の競技カーリングを体育館などの床面で手軽にできるように考えられたニュースポーツ。地区では、2011年に統合され廃校となった旧仏生寺小体育館を活用しようと、14年に道具一式を購入し、普及に取り組んできた。

現在、地区では自治振興会や公民館、老人会などの主催で大会を開催。小学生から高齢者まで100人以上が集う大会もあり、日本カローリング協会インストラクターで、普及に尽力してきた中田嶺生さん(80)＝惣領＝は「楽しみながらコミュニケーションができるし、運動不足解消にもなる。子どもとの交流も楽しい」と魅力を話す。

昨年6月には、市カローリング協会が発足。体育館で四季ごとに大会が開かれるなど、ますます盛り上がりを見せている。中田さんは「仏生寺からカローリング熱がどんどん広がればうれしいね」と笑顔を見せた。

「命のバトン」更新

11集落代表が研修会

仏生寺地区の11集落は、命のバトン・避難支援シートと福祉マップ台帳を更新した。災害時の安否確認のための情報共有が狙い。転入や転居、出生、死亡などによる変更点を修正した。

命のバトンは持病やかかりつけ医、緊急時の連絡先などの情報を入れたケースを冷蔵庫に保管し、助けが必要となったときに情報を知らせる。地区では2015年から作成に取り組む。3月の研修会では自治振興委員、民生委員、福祉サポーターら約30人が集まり、社会福祉協議会の職員から助言を受けながら作業を進めた。

能登半島地震で災害時の安否確認の重要性についての意識は高まった。参加者からは「1人暮らし老人や高齢者だけの家が増えた」との声が聞かれた。仏生寺（上中）の民生委員の山田洋子さん(70)は「1集落だけでやるのは大変。みんなで集まってやるからできる作業」と話した。

◇次回4月27日付は「氷見仏生寺新聞・後編」を掲載します。

シートを確認する各集落の代表　＝仏生寺公民館

案内板（13日）

宗教

◇城端別院善徳寺▽先門首闡如上人祥月命日　午前6時半（法話は小矢部市称名寺・立島秀哲氏）

当番医

（午後2時～7時）
【富山市】▽富山市・医師会急患センター（内・外）富山市今泉北部町　076（425）9999

夜間当番医

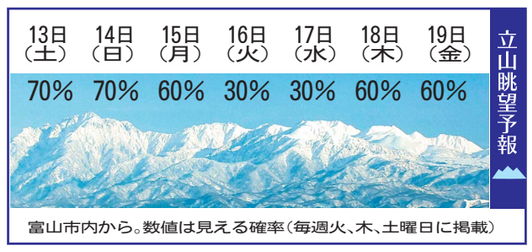
【富山市】（内科、外科、小児科の受け付けは午後7時～11時45分）▽市・医師会急患センター（内・小・外）今泉北部町　076（425）9999
【高岡市】（午後7～11時、11時以降は市急患医療センターへ問い合わせを）▽急患医療センター（内・小・外）本丸町　0766（25）7111
【新川医療圏】（午後7～10時、受け付けは9時45分まで）▽新川医療圏小児急患センター（小）黒部市三日市（黒部市民病院内）　0765（54）2211（午後7～10時、受け付けは9時半まで）▽下新川一次急患センター（内）黒部市三日市（黒部市民病院内）　0765（54）2211
【魚津市】（午後7～10時、内科、外科以外は市急患センターに問い合わせを）▽魚津市急患センター（内・外）六郎丸（富山労災病院内）　0765（22）1280
【砺波医療圏】（午後8～10時半）▽砺波医療圏急患センター（内・小）砺波市新富町（砺波総合病院敷地西側）　0763（34）5005（小）0763（34）7744
◇精神科救急（午後5時～翌日午前9時）076（433）3996

献血

【富山市】▽マリエ献血ルーム　午前10時～午後6時

立山眺望予報

13日（土）	14日（日）	15日（月）	16日（火）	17日（水）	18日（木）	19日（金）
70%	70%	60%	30%	30%	60%	60%



富山市内から。数値は見える確率（毎週火、木、土曜日に掲載）

高齢者講習空き情報

自動車学校		75歳未満	75歳以上
小矢部	0766-67-0180	6月24日	6月18日
南砺	0763-58-2202	5月22日	5月22日
砺波	0763-32-2707	6月17日	6月7日
氷見	0766-91-2255	4月25日	4月25日
北陸	0766-30-2175	7月12日	6月27日
高新	0766-23-3377	5月17日	5月10日
高岡	0766-22-3950	6月19日	5月27日
第一	0766-52-0722	7月30日	7月9日
運転研修センター	076-438-7766	5月14日	4月22日
呉羽	076-434-1222	4月26日	5月16日
中央	076-466-3333	6月17日	6月18日
北日本	076-441-1742	4月24日	4月13日
富山	076-492-5533	5月20日	4月22日
中部	076-423-3214	7月1日	5月24日
滑川	076-475-1100	5月31日	5月22日
黒部	0765-52-1352	6月17日	6月20日
入善	0765-72-0636	6月7日	5月15日

※表の日以降可能。詳細は各自動車学校へお尋ねください。
※認知機能検査は、運転免許センターに統一されました。認知機能検査の予約は、運転免許センター専用ダイヤル0570-048982へ。